



優美なる意匠をたずねて。

IRODORI

Winter 2021 vol.03

人に、地域に、エネルギーを。ライフスタイルに彩を。

THANKS



ANNIVERSARY

古からの願いや
想いを表現する

日本の 伝統文様

初詣で周囲を華やかにしてくれる着物、お節料理を彩る器、子供達を喜びで満たすお年玉のポチ袋など、お正月になると、おめでたい雰囲気がいっそう高めてくれる“日本らしい柄”を目にする機会が増えますね。今まで何気なく触れていたのですが、気になって少し調べて見ると、縁起をかついだり、幸せへの願いを込めたりして日本で昔から使われてきた「伝統文様」と呼ばれる柄があるということがわかりました。今回はその「日本の伝統文様」をいくつかご紹介したいと思います。

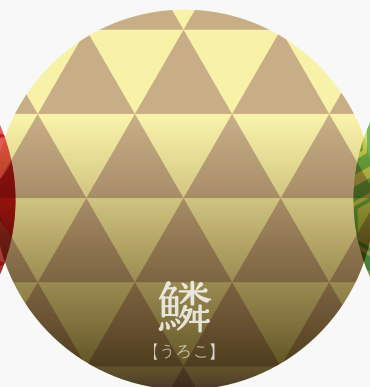


七宝

【しっぽう】

円を重ねることで、中央部は光る星のように、重なり部分は花卉のように見える文様です。仏教の用語で七つの宝物に由来して七宝の名がついたそうです。絶えることのない永遠の連鎖と拡大、子孫繁栄、人の縁・関係性の円満、調和への願いが込められています。

※七宝：金、銀、瑠璃、珊瑚、瑪瑙（めのう）、
玻璃（はり）、シャコガイ



鱗

【うろこ】

三角形を交互に組み合わせた連続文様です。中国から伝わってきた柄で、蛇や魚のうろこに見立ててこの名がついたそうです。身を守るための魔よけ、厄よけの意味が込められていて、武家の装束の柄などに用いられていました。



亀甲

【きっこう】

正六角形を上下左右につなぎ合わせた文様です。中国から伝わってきた柄で、正六角形は亀の甲羅を表しているそうです。長生きする亀は長寿の象徴であることから、永遠の繁栄への願いが込められています。



市松

【いちまつ】

色違いの正方形を交互に並べた文様です。織柄として古代から日本にあったようですが、江戸時代の歌舞伎俳優の佐野川市松がこの文様の袴を愛用したことからこの名がついたそうです。永遠、発展拡大、繁栄への願いが込められています。



麻の葉

【あさのは】

六角形を繰り返して描かれている文様です。麻の葉に似ていることからこの名がついたそうです。麻は生命力が強く、まっすぐに伸び、大きく育つことから、江戸時代には子供達の成長への祈りを込めて赤子の産着の定番柄として用いられていました。



青海波

【せいがいば】

三重の半円を連続して波を表した文様です。ササン朝ペルシャから伝わってきた柄で、平安時代の舞楽「青海波」の衣装に用いられていたことからこの名がついたそうです。未来永劫続く幸せへの願い、人々の平安な暮らしへの願いが込められています。

今回は**日本の伝統文様**をご紹介しました。世界からも高く評価されている日本の伝統文様。それぞれの由来や、込められた意味、願いを感じながら触れてみると、私たちの視界の彩りだけでなく、心の中にも鮮やかな彩りを広げてくれるかもしれません。

トレンドリポート

美容

掲載誌・サイト

レタスクラブ



サボリーノ オトナプラス 夜用チャージフルマスク32枚入
1600円(税別・BCL)

ヘトヘトな夜にも大活躍！ 「60秒フェイスマスク」

60秒でスキンケアを完了できるマスクが人気。大人世代は、化粧水にプラセンタやコラーゲンなどのエイジングケア成分をプラスした「夜マスク」に注目。忙しいママが疲れ切った夜に使う「ながらマスク」「寝る前マスク」として重宝されている。一方、若い世代には、洗顔・スキンケア・化粧下地成分を含み、メイクまでのプロセスが簡略化できる「朝マスク」が人気。

マネー・仕事

掲載誌・サイト

LDK



Snapmart アプリ

スナップ写真でお小遣い稼ぎ！ 「Snapmart(スナップマーケット)」

自分でスマホで撮影したスナップ写真を売ることができるアプリ。販売した写真は企業やメディア、広告代理店などの写真素材として使われる。プロがつくり込んでも撮れないリアルな日常やナチュラルな瞬間をとらえた写真が人気だ。売れるごとに報酬率が増加するので、こまめな投稿で収入アップも。手軽に始められ、お小遣い稼ぎとして始める主婦が増えている。

食

掲載誌・サイト

日経クロストrend



発酵ぬかど 1kg:890円(税込・無印良品)

面倒さを解消し楽しんで育てる 「手間がかからないぬか床」

無印良品の「発酵ぬかど」が前年比2倍のヒット。コロナ禍で調理時間が増えたことや、健康意識による発酵食の人気の高まりが主な理由。買ったその日から楽しめ、毎日かき混ぜなくていい手軽さや、チャック付きの袋がそのまま容器として使えることから、ぬか漬けのハードルが一気に下がった。SNSではぬか育てをペットのように楽しむ「ぬか女(ぬかじょ)」も登場し話題に。

ファミリー・キッズ

掲載誌・サイト

東洋経済オンライン



ぐるぐるポテト:2500円(税別・メガハウス)

大人も魅了する進化系 「クッキングトイ」

クッキングトイとは実際に食べられる食品を作るおもちゃのこと。ままごと好きな女兒に根強い定番玩具だが、巣ごもり需要で大人も一緒に楽しめるものに進化。人気のアジアの屋台風フードやキャラクターをあしらったスイーツを作れるものが人気だ。親子で作って楽しめるだけでなく、珍しくてかわいい食べ物をSNSで披露したいという大人心もくすぐる。



花の色や形、削りかすも愛しむ花色鉛筆

真っ白なスペースに色を塗る。それだけで少し浮き立つ心を、さらに華やかにしてくれる文房具、それが「花色鉛筆」です。五角形のパッケージに収められているのは、日本の伝統的な花の名がつけられた五色の鉛筆。ピンクの濃淡2色は、桜色と紅梅色、鮮やかな黄は蒲公英（タンポポ）色です。松のような落ち着きある緑は常磐色、桔梗色は青とも紫ともいえない、キキョウの花の色そのものです。うっとりさせられるのは、色と名にとどまりません。それぞれが花の形をしており、鉛筆の端からその断面の美しさを確認することができます。花色鉛筆を手にとってみると、一般的に使われている鉛筆の木の感触とは異なることに気づき

ます。その正体はプラスチックの代替品としても注目を集める廃棄古紙を主原料にした新素材「MAPKA」。驚くのはこれだけではありません。この花色鉛筆を鉛筆削りで削ると……。削りかすが花びらの形になるのです。古の人たちが、花を愛で、散った花びらまでも美しいと感じたように、削った後も優美に見えるデザインは、年齢や性別、国内外を問わず高い評価を得ている逸品です。デジタルが主流の現代だからこそ、手書きの風合いや、シンプルなものに少し色を加える暮らしを楽しむのもおすすめです。

※資料提供：株式会社TRINUS



あなたのライフスタイルを彩るiRODORiプレゼント

左ページでご紹介した「花色鉛筆」と塗り絵を楽しめる「花色鉛筆ポストカード(5枚入)」をセットにして5名様にプレゼントいたします。

「花色鉛筆」は、日本のメーカーの独自技術を活用した商品企画において、4,000名以上のクリエイターの中から寄せられたアイデアで誕生した商品です。



ご希望のお客様は、QRコードから「iRODORiプレゼント応募フォーム」にアクセスの上、お申込みください。

お申込み締切 2021年2月28日(日)まで

当選発表は、当選者様への連絡をもってかえさせていただきます。



アイ・エス・ガステムのメンバー

私有地にある家を取り壊し、マイキャンプ場をつくるキャンパー。同僚みんなの分もつくる、オリジナルマスク職人。ラジオドラマ脚本家。アイ・エス・ガステムは、さまざまな経験、趣味を持つ、たくさんの個性が集まり多彩な色彩をつくっています。そして「お客様のライフスタイルに彩を加えるには、何ができるか」をいつも考えています。お困りごとがございましたら、ガス以外のことで、なんなりとお声がけください。

ライフラインを支え、ライフスタイルをつくる。アイ・エス・ガステム。

